

# 防音・遮音性能強化求め

## 道無暖冷房研が研修会開催

北海道無暖冷房住宅研  
員研修会を開催した。

研究会（繪内正道会長）は  
7月25日、札幌市内で会  
で、防音や遮音について、  
それぞれ講演が行わ  
れた。

第1部は大建工業  
（大阪市）の井上直  
人サウンドセンター  
長が「防音の基礎知  
識と防音構造の紹  
介」をテーマに講  
演。

防音とは空气中を  
伝わる音を遮る「遮  
音」、吸音材により音  
を整える「吸音」、振  
動を起さず伝えな  
い「制振・防振」の

3つの要素を含んでいる  
として、「音の響きが良く  
なければ防音とは言えな  
い。音を止めたい場合は  
遮音、制振・防振を的確  
に使い分けることが大  
切」と解説した。

第2部は北海道立総合  
研究機構（道総研）建築  
研究本部の廣田誠一企画  
課長が「枠組壁工法、床  
の重量床衝撃音遮断性能  
の向上と評価について」  
と題して講演。

共同住宅等の施工者の  
アンケート結果から竣工  
後に歩行音についてクレ  
ームが生じるケースが多

いことを挙げ、「しっかり  
した遮音性能のアパート  
等が提供されていないこ  
とによる」と指摘。

そうした課題を解決す  
るための実験や研究成果  
を報告。「施工者が住宅の

性能について把握するこ  
とが重要。我々も遮音方  
法等の設計情報を提供す  
るので取り組んでほし  
い」と話し、「併せて施工  
物件の性能表示も進めて  
ほしい」と訴えた。



防音や遮音について理解を深めた。